



## 会長挨拶

佐藤 友彦

皆様、こんにちは。本日も月初の大変お忙しい中、例会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。また、1月24日に開催されましたIM合同例会にご参加頂いた皆様にも重ねて御

礼を申し上げます。

さて、本日はIM合同例会に参加できなかった方もいらっしゃると思いますので当日の事をお伝えしたいと思います。まず、例会の場で2024年-25年度の第9グループガバナー補佐として、城北RCの大川会員が紹介されました。また、来年度のIM合同例会は足柄RCがホストクラブとなります。そして、例会の内容は築地RCの会員でもあるカテリーナさんによって、ウクライナの民族楽器であるバンドウラの演奏が行われました。同時に美しいウクライナの自然と街並み等が映像で映し出されると共にカテリーナさんより故郷の平和を願うメッセージが寄せられました。現在もウクライナやパレスチナ(ガザ)では戦闘が続いています。歴史、宗教的な背景や国益を考えれば国家レベルでの解決には時間が掛かることは事実ではありますが私たちロータリアンやロータリークラブとして民間的な外交からなる相互理解を深める事はとても重要であり、決して風化させずに小さいながらも私たちが出来る事を積み上げる事こそ、大切な事だと改めて強く感じました。ウクライナとウクライナの方々がロシア軍の完全撤退により一刻も早く平穏な日常を取り戻せることを切に願い本日の挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

## 幹事報告

ガバナーより

1. 2月のロータリーレート 1ドル147円

2. 米山奨学生の世話クラブとカウンセラーお引き受けについてのお願い

【ご依頼する新規米山奨学生】

氏名:龔 俊鏗(キョウ シュンコウ)

性別:男 国籍:中国

大学:文教大学(神奈川)(課程:学部4年)YU

奨学期間:2024年4月~2025年3月(期間:1年)

カウンセラーは、奨学生のサポートだけでなく、この奨学事業を多くの会員にご理解いただくため、奨学生と会員のパイプ役として重要な役割を果たしていただくこととなります。以下のような要件を参考に選出し、ご推薦ください。

- ①奨学生に対応する時間を持てる方
- ②奨学生に対する思いやりを持てる方
- ③国際交流に関心があり、異文化理解・コミュニケーションに前向きな方
- ④カウンセラーの役割を楽しめる方

お引き受け下さいましたら、2月22日(木)までにカウンセラーと奨学金受入専用口座をガバナー事務所まで、お知らせ下さい。3月下旬に米山奨学会から正式な「世話依頼状」「カウンセラー委嘱状」「カウンセラーハンドブック」が届きます。

連絡事項 なし

## スマイルボックス

入会記念日 吉村行正君(2年・R4.1.28)

入会記念日 高杉尚男君(25年・H11.2.5)

入会記念日 渡辺久恭君(18年・H18.2.3)

室伏学君 1月29日に湯河原町経済3団体新年合同賀詞交歓会を開催しました。

葉維英君

上海で4年ぶりに日中産学連盟会新年会を開催しました。企業および大学のご来賓が約120名のご参加となり、赤松大使もご参加されまして、盛大に開催することができました。

## 出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名  
会員 22名 欠席7名(免除者0名)  
出席率 63.64%  
前回の修正出席率 75.00%  
前々回の修正出席率 86.36%  
事前メイクアップ 0名

### 水路に焦点を置いた

#### ロータリーと国連のパートナーシップ

Etelka Lehoczky

ロータリー会員は、国連環境計画(UNEP)との新たな協力を通じて地元の水路を清掃、保護、モニタリングできるようになりました。この戦略的パートナーシップは、国連の「持続可能な開発目標」とロータリーの重点分野である「環境」の両方に沿っています。

1月10日、次期ガバナーのための会合であるロータリー国際協議会で、ステファニー・アーチック RI 会長エレクトは次のように述べました。「このパートナーシップは、ロータリーの地域社会に根ざした解決策と、UNEP の技術的な専門知識を融合させるものです」

このパートナーシップの中心となるのは、水路の健全性維持に取り組むロータリークラブとローターアクトクラブのプログラムです。Community Action for Fresh Water(淡水のための地域活動)と名付けられたこのプログラムでは、クラブが河川清掃の日を設け、健全な水路の重要性について地域社会の認識を高め、基本的な水質検査を実施し、その結果を報告することを奨励します。

UNEP 北米事務局地域ディレクター兼代表のラファエル・ペラルタさんは、このような地域に根ざした活動は、地球規模の環境保護に不可欠であると話します。

「気候変動、生物多様性の損失、汚染・廃棄物という三つの地球規模の危機と闘うには、淡水の生態系の保護、管理、回復が基本となる」とペラルタさん。「人口が増加し、経済が拡大するにつれ淡水の需要も増加するため、淡水の生態系はますます大きな圧力にさらされています」

今回のパートナーシップは、国連環境計画(UNEP)とロータリー第9212地区(エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン)が2020年に開始した試験的プログラム(Adopt a River for Sustainable Development)に基づくものです。また、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブも、これまでに淡水の生態系を浄化するために独自の活動を行ってきました。

「健全な流域は、生物多様性、森林、湿地帯、湖沼を育みます。また、農業や経済を支え、帯水層を涵養(かんよう)し、世界中の何百万という人びとに水を供給します」と、ロータリー財団専門家グループ(Cadre)メンバーのサルバドル・リコさんは話します。「汚染された河川と流域の損傷は、火災発生を招き、干ばつを引き起こし、病気の原因となり、近隣社会の経済に影響を及ぼし、気候変動の一因となります」

ロータリー財団は、3年間にわたりプログラム資金を提供します(支援継続の可能性あり)。クラブは、地区資金を利用するか、グローバル補助金を申請して活動費用を賄うことができます。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、地元の水域(河川、湖沼、湿地、自然の貯水池)を特定し、その保護と回復に取り組めます。その後、地元の地域社会やその他の関係団体と協力して、水域を脅かす主な脅威を特定し、最終的に非政府組織、民間企業、政府機関と協力して活動計画を立てます。

(出典:My Rotary)